

今後のETJPの活動について

2004年9月14日

ETJP会長 後藤滋樹

- ETJPの設立
 - 2004年9月末日までの活動を予定して、2003年9月に設立
- ETJPの会員数
 - 設立時の20会員から45会員に増加
- 会議開催実績等
 - 全体ミーティングを6回、報告会を1回、2つのWG(PandS、DNS)が活動中
- 各実験フェーズの状況
 - フェーズ1
 - ENUM DNS、VoIPルータ、SIPサーバ、ソフトフォン、FAX等実績あり
 - フェーズ2
 - ENUM DNSのTier分割とDNSSEC対応、RFIDを使っでのワンナンバー着信等実績あり
 - フェーズ3
 - 事業者間サービス実験、国際実験は未実施

実績を残しつつも、フェーズ3の目標を完全には達成できなかった。実証実験を継続させるために、ETJP活動を1年間延長

総会で諮る予定

- ETJPの実験環境
 - ENUM DNSは、これまで通り運用できるように調整することで、会員は実験の継続が可能
- ETJPおよびETJP会員間の情報共有体制
 - ETJPのWebやメーリングリストを今後も継続的に運用
- ETJPの会合等
 - ETJP全体ミーティングは、定期的開催から、必要時開催へ変更
 - 最終報告の会合は、約1年後を予定
 - 10月に予定していた報告会は、実施を延期
- 補足
 - 当面、情報共有と議論の場は、全体会合からメールベースへ移すものの、例えば1.8.e164.arpaの委任を受けるなどの状況の変化に対応できる体制を維持